

# 「大切な資源」を生かすために！！

## 各種ごみを排出する際、特に注意すべき事項 その④

### 共通事項

- ①各種ごみの収集日の午前8時までに決められた集積所に排出してください。
- ②ごみ（資源ごみを除く）は、野洲市指定の袋・シールを使用し、必ず氏名を記入し排出してください。  
※ごみ袋等への氏名の記入は、ごみの分別について責任をもって排出いただくためのものですので、必ず氏名の記入をお願いします。

### 雑誌類

- ①雑誌・本、広告・チラシ、箱類（厚紙）、その他紙類（封筒、コピー用紙等）を十文字にしばって排出してください。
- ②汚れているもの、ひどく濡れているものは、「燃えるごみ」として排出してください。
- ③付属のビニール、プラスチック、布等は取り除いてください。
- ④細かい紙類は、古封筒等に入れて排出してください。

### 燃えるごみ

- ①生ごみ、紙類、木質ごみ、ゴム・皮革製品、繊維類、汚れたプラスチック容器類は「燃えるごみ」として排出してください。
- ②安全靴やスパイク等、金属類がついたものは「燃えないごみ」として排出してください。
- ③木質ごみ（枝、木くず）は、長さ50cm以下、太さ5cm以下に切って燃えるごみ指定袋に入れて排出してください。
- ④燃えるごみの内、生ごみは重量比で約4割を占めています。ごみの減量化を進めるためにも、水切りを十分行ってから排出してください。

※分別状況が特に悪い「空きビン」について再掲載します。

### 空きビン

- ①キャップを外し、容器内を洗浄し、「無色透明」「茶色」「その他」の色ごとに指定コンテナへ排出してください。
- ②金属製のキャップは「燃えないごみ」、プラスチック製のキャップは「プラスチック容器類」として排出してください。
- ③板ガラス、ガラス食器、耐熱ガラス、鏡、陶磁器類（茶碗、花瓶等）、電球、蛍光灯は「燃えないごみ」として排出してください。

### 集積所には排出できないごみ

- ①自動車部品、バイク、農機具、危険物等は集積所に排出できません。
- ②バッテリー、消火器、タイヤ等は集積所に排出できません。
- ③家電リサイクル対象品（テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機）は集積所に排出できません。※処分は、家電リサイクル対象品の処理方法に従って処分してください。
- ④不要になったパソコン（デスクトップパソコン本体、ディスプレイ、ノートパソコン等）は集積所に排出できません。※購入店、各メーカーにお問い合わせください。

### 毎月第4土曜は 廃食油回収の日

12月22日(土) 午前10時～正午

回収会場…市役所別館横電話ボックス付近

回収物…廃食油、牛乳パック、アルミ缶  
問環境課☎587-6003、エコロジーマー  
ケットやすの会・増村☎586-1441

## 市指定ごみ袋等の新旧交換期限は 12月28日(金)まで！

旧市指定ごみ袋等の新市指定ごみ袋等への代金相当分の交換が、12月28日(金)で終了します。在庫をお持ちの人は交換をお願いします。

交換場所…環境課および市民サービスセンター

交換時間…毎週月曜～金曜日（祝日は除く）、午前8時30分～午後5時15分



### ◆環境課

☎ 587 - 6003

FAX 587 - 3834

# 歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

99

歴史民俗博物館

☎587-4410、Fax587-4413

【休館日】 月曜日（12月24日は開館）、12月25日、12月28日～1月4日 ※市民は入館無料

◆テーマ展「くらしのなかのやきもの」

1月27日(日)まで

◆野洲のやきもの「小富士焼」～池田コレクション展／1月27日(日)まで

展示解説…12月8日(土)午後1時30分～

◆第24回赤米講演会と試食会「日本人のソウルフード すしのルーツはフナズシにある」／12月1日(土)午後2時～4時

講師…大沼芳幸さん（県立安土城考古博物館）

◆友の会歴史入門講座③「朝鮮通信使と朝鮮人街道」／12月13日(木)午後2時～4時

講師…烏野茂治さん（近江八幡市史編纂室）※

資料代200円

◆しめ縄作り教室／12月15日(土)午後1時30分～3時 主催…博物館友の会 ※材料代300円、電話にて事前申込要

## 野洲のやきもの「小富士焼」

小富士焼は、今から100年ほど前、明治30年頃から大正にかけて、小篠原で焼かれていたやきものです。1926(大正15)年に発刊された『近江栗太郡志』によると、栗太郡葉山村小野(現・栗東市小野)の小山佐多次郎が、京都の陶工を招いて始め、「近江富士」と呼ばれる三上山の麓のこの地に窯を築いたことから名付けられました。趣のあるよい品で人々に喜ばれましたが、収支があわず長くは続かず、廃窯したと記されています。

野洲では、同じ頃に大篠原で「篠原焼」が焼かれ、小堤でも岡田清造が窯を操業していました。当時、小さいながらもやきもの文化が開いた地であったのです。窯が築かれた場所は、野洲駅にほど近い所で、朝鮮人街道沿いにあったといわれます。1889(明治22)年に鉄道が開通した後、1891(明治24)年には野洲駅が開業し、店屋も少しずつ増えて駅前町の並みが形成された頃に始められたようです。

小富士焼は陶器で、そのほとんどに「小富士」の小さな印刻を入れています。きめ細かい粘土を用い、京風の絵付けを施した、趣のある作品が残されています。なかには、三上山を描いた作品もあり、土地の風景を画題とした親しみ深いものもみられます。作られたやきものは、皿・小鉢・蓋物・徳利など小物の飲食器を中心に、酒盃や小皿から、菓子鉢くらいのもので、大物はみられず、あまり焼かれな

かったのかもしれない。日用品というより、客用のやや上等なものを作っていたように、煎茶用具や香合も手がけ、注文に応じてさまざまな種類の陶器を焼いたと思われる。作陶はろくろ仕上げや型抜きが中心で、絵付けを主体とした作品が多く、素材ですが京風の雅なやきものをめざしたようです。しかし、窯の操業はさほど長くなく、作品はあまり多く残されていません。

で、地元の博物館での保管や活用を願って寄贈されたものです。今では数多く残存しない小富士焼をまとまって収集することはそう簡単ではなく、長年かけられた熱意がうかがえます。保存状態もよく、たいへん貴重な作品群です。写真の作品「蟹絵水差」は、胴径13・8cm、高さ17・0cmで、底裏に「小富士」の印刻を入れてあります。鉄絵による絵付けが施され、蟹を片面に二匹、反対側の面にも一匹を描きます。蓋のつまみにはキノコを生やし、取手や注口にも少し変化をつけ、遊び心のある楽しい作品です。蟹の絵は、背から見た姿のみでなく、前から見たところも表現しているのが興味深く、かなり手慣れた筆づかいであり、絵付師の技量の高さがうかがえます。蟹は、文人好みの意匠として当時流行しており、器にもよく描かれました。

親しみ深いふるさとのやきもの「小富士焼」を、開催中の民具展「くらしのなかのやきもの」とあわせてぜひご覧ください。

(博物館学芸員 行俊勉)



小富士焼 蟹絵水差